

2025年11月14日

報道関係者各位

三井不動産株式会社

KDDIスマートドローン株式会社

三井不動産×KDDIスマートドローン

日本初、高層ビル屋上でのAIドローンの遠隔飛行実証実験を実施

大規模災害時の上空からの迅速な情報収集の実現、街の防災力強化をめざす

本リリースのポイント

- 日本橋三井タワー屋上にドローンポートを設置し、災害時を想定したドローンの遠隔自動飛行の実証を実施
- ドローンの自動撮影により、日本橋周辺エリアにおける被災情報を広範囲かつ高精度で取得可能か検証
- 高層ビル屋上でのAIドローンを用いた遠隔飛行実証実験は日本初の試み
- 将来的に他エリアにも展開することで、都内上空からのドローン飛行による街の防災機能向上を目指す

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊、以下 三井不動産)とKDDIスマートドローン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:博野雅文、以下 KDDIスマートドローン)は、2025年11月13日に実施された避難訓練に合わせ、日本橋三井タワー屋上において、大規模災害時における上空からの情報収集を目的とした、AIドローン(注1)の遠隔飛行実証実験(以下「本実証」)を実施いたしました。都心エリアにおいて、高層ビル屋上でのAIドローンの遠隔飛行実証実験は日本初の取り組みです。

本実証では、首都直下型地震などの大規模災害発生時を想定し、自動充電ポート付きドローン「Skydio Dock for X10」および衛星通信「Starlink Business」を屋上に設置。屋上からの自動離陸・着陸や広域映像の撮影を行い、有事における日本橋周辺エリアでの情報収集の有効性を検証しました。

三井不動産は、2019年に発表した「日本橋再生計画 第3ステージ」の「新たな産業の創造」において、「モビリティ」を戦略領域として位置づけております。ドローンは次世代のモビリティとして、迅速な被災状況把握や救援物資の配送・避難誘導などの役割が期待されており、日本橋エリアの防災機能強化のためドローンの実装を検討してまいりました。

また、KDDIスマートドローンは、ドローンポートを日本中に1,000カ所設置することで、日常と災害などの非常時を問わず、どこでも10分でドローンが遠隔操縦で駆付け可能となるドローンの社会基盤化を目指しています。

両社は、本実証を通じたドローンの有効性検証を元に、安心・安全な街づくりを推進し、社会全体のレジリエンス向上に貢献してまいります。



屋上に設置した Skydio Dock for X10

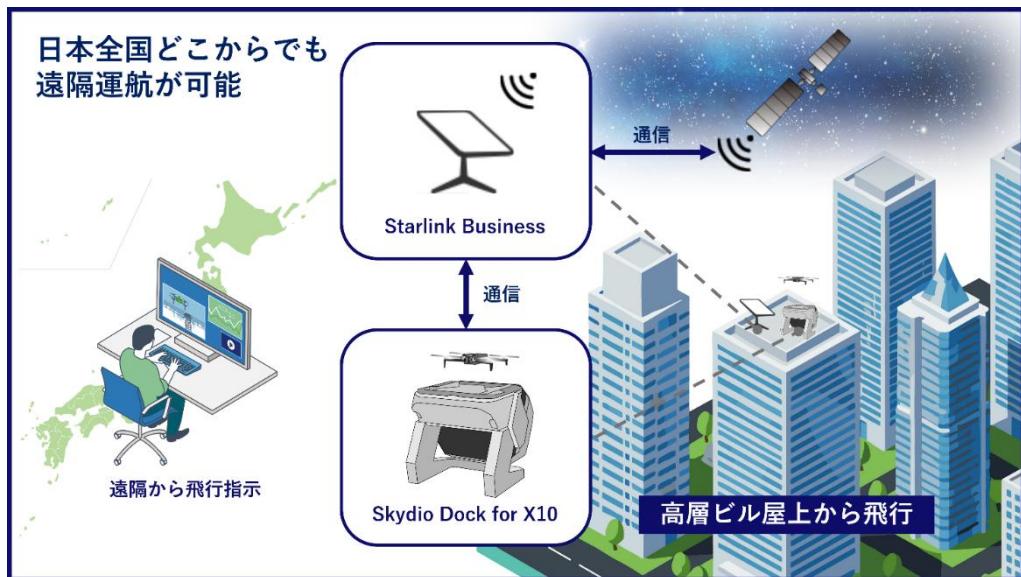


飛行の様子

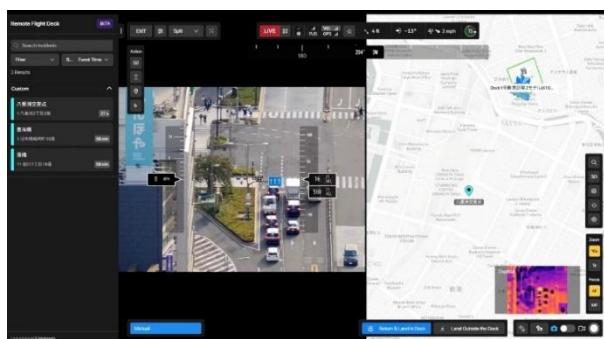
■本実証の概要

日本橋三井タワー屋上に、自動充電ポート付きドローン「Skydio Dock for X10」、「Starlink Business」を設置し、2025年11月13日に実施された避難訓練に合わせ、災害時を想定した遠隔自動飛行の実証実験を行いました。

実証日	2025年11月13日
実証場所	日本橋三井タワー 屋上
実施内容	災害時を想定し、自動充電ポート付きドローン「Skydio Dock for X10」および「Starlink Business」を日本橋三井タワー屋上に設置、遠隔自動飛行による周辺状況の撮影を実施 ※ドローンは日本橋三井タワー屋上範囲内にて、垂直方向の飛行に限る
成果	・迅速な被災状況把握 屋上に設置された Skydio Dock for X10 を利用することで、遠隔からの飛行指示・自動撮影により、建物・道路・人流の状況を上空から広範囲に把握可能であることを確認 ・通信環境の確保 地上通信網の途絶が想定される状況下でも、衛星通信「Starlink Business」により、安定した映像伝送が可能であることを確認
今後	首都直下型地震などの大規模災害発生時において、収集したデータを当社関連施設および周辺の状況把握に生かし、さらに関係機関に共有・連携することで、迅速かつ的確な救助活動や復旧活動に繋げることを目指す



実証実験イメージ



飛行制御画面



ドローン視点の撮影画像

三井不動産とKDDIスマートドローンは、今後も連携を強化し、首都圏をはじめとする都市エリアでのドローン常設運用の有効性を検証するとともに、先端技術を活用した都市防災力の向上と、日本橋エリアのさらなる魅力向上に取り組んでまいります。

※取得映像の取り扱いについて

本実証実験にて取得した映像の取扱いに関しましては、次のとおり厳重に運用管理するものといたします。

- ・特定の建物や人物にフォーカスしないよう十分に留意の上撮影しております
- ・映像についてはアクセスを制限し、目的以外では使用しません

(注1) AI ドローンは AI 搭載自律飛行ドローン「Skydio X10」を指します。優れた AI 飛行支援(空中停滞や空間認識)と障害物回避による安全・安心な飛行が可能です。本実証においては、AI による飛行支援を活用し、上空から広範囲の情報収集を実現しました。

(参考)

■利用機器について

1. Skydio Dock for X10

Skydio Dock for X10 は、Skydio X10 の自律飛行性能を最大限に引き出し、自動離着陸・自動充電による 24 時間 365 日の遠隔運用を可能にするドローンポートです。現場に作業員を配置することなく、遠隔から安全かつ継続的にフライトを行えるため、平時のインフラ点検や巡視などの定期業務の効率化・省人化に加え、災害発生時には人が立ち入れない環境でも迅速な状況把握を実現します。KDDI スマートドローンは、その運用を包括的に委託できるサービスとして遠隔運航サービスを提供し、ドローンポートの社会基盤化を推進しています。

詳細は <https://kddi.smartdrone.co.jp/solution/monitor/> をご覧ください。



Skydio Dock for X10

スペック詳細	
総重量	109kg(240 ポンド)
サイズ	86.6cm(L) × 95.7cm(W) × 140.9cm(H) (with base)
入力電圧	100~240 V (AC) 50/60 Hz
動作温度	-20°C~50°C
防塵防水性能	ルーフオープン時:IP54 ルーフクローズ時:IP56
離陸までの所要時間	20 秒

2. Starlink Business

Starlink Business は、光回線の敷設が困難な地域や海上などの通信不感地帯において高速通信を可能とする衛星通信プロードバンドです。Skydio Dock for X10 とセットで利用することにより、山間部など通信確保が難しいエリアでもドローンポートの運用(遠隔飛行制御、データ送受信等)を実現します。



Starlink Business

■三井不動産株式会社について

三井不動産は、日本橋を拠点に、「残しながら、蘇らせながら、創っていく」をコンセプトとした街づくりを推進しています。ライフサイエンス、宇宙、半導体、モビリティ、食といった戦略領域において、新たなビジネスやカルチャーを生み出し、多様なプレイヤーとの共創を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しています。

■KDDIスマートドローン株式会社について

KDDIスマートドローンは、上空電波(4G LTE)を用いてドローンを制御することで、安全な遠隔飛行・長距離飛行を実現するサービスの構築を行っています。ドローンによる新たなビジネスの実現や、点検・監視・測量・物流・農業などのさまざまな分野におけるお客さまのニーズに即した機動的なサービスの提供に取り組んでいます。

また国内20拠点以上でドローン国家資格に対応した無人航空機操縦士資格コースとソリューションに特化した領域専門コースを運営するドローンスクール「KDDIスマートドローンアカデミー」も展開しています。

会社概要は <https://kddi.smartdrone.co.jp/> をご覧ください。